

学校運営協議会(全日制部会)議事録

| | |
|-----|-------------|
| 校名 | 府立 春日丘高等 学校 |
| 校長名 | 濱崎 年久 |

| | |
|---------|---------------------------------|
| 開催日時 | 令和4年7月7日(木) 14:00 ~ 15:45 |
| 開催場所 | 大阪府立春日丘高等学校 本館1階 校長室 |
| 出席者(委員) | 花崎会長、磯村委員、有福委員、辻井委員、笠原委員、川中委員 |
| 出席者(学校) | 濱崎校長、宮城教頭、野田事務部長、大岡首席、山田首席、田村教諭 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | 学校運営協議会実施要項、R4学校経営計画、進路状況 |
| 備考 | |

議題等(次第順)

学校運営協議会について、(年度初めにおける)位置づけの確認

協議会会長の選出

協議開始

- ①今春の大学入試結果(74期生進路実績)の説明、講評
- ②今年度のここまでの経過説明
- ③令和4年度学校経営計画の説明

その他諸連絡

- ①令和5年度教科書採択について
- ②次回日程について(後日メールにて日程調整)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○運営協議会委員の発言 ●本校教職員の発言

①について

- 大阪教育大学の人数が増加しており、教員をめざしている生徒が一定いることがとても頼もしい。(教員はブラックであるという報道が増えている中で)
- 春日丘で先生方を見ているからではないでしょうか。
- 現役生徒が多いことが注目される(一昔前は半数以上が浪人生であった)。

②について

- GW(グループワーク)やPW(ペアワーク)が苦手な生徒が一定いることについては、コロナの関係で中学校でもその機会が減っていることも関係している。
- 【上記意見に関連して】昼食も黙食で、(机をくっつけることなく)前を向いて食べている。
- 適応障がいなど、生徒の特性について、配慮が必要か否か見極めが難しい。担当教員が一人で対応することが無いよう、先生が相談できる環境を作ることが大切である。

③について

○単なる%での数字だけでなく、クロス集計を行うなどすれば、具体的な問題点が明らかになるのでは。

●内容にもよりますが、クロス集計では、うまくデータ処理できないことが多い。

○(今年度の重点目標の一つである)「良好な人間関係の構築」が一番求められるもの。相手の目を見て話しができない生徒が増えているように思う。

○一方で部活動の加入率が高い(95%以上)は特筆すべきこと。

●上級学校に進学しても、人間関係でやめてしまうことが無いようにという思いで指導している。

○教員の時間外労働が多いのは大変ですね。

●部活動の時間が多いのですが、授業以外の部活や学校行事で頑張ることも大切にしています。

○「多様性」がよく言われているが、高校の時にもっと深く考えさせることが必要ではないでしょうか。多様性ばかり追い求め、“我が道を行く”ことで社会に適応できないのでは良くない。

○言葉の本来持つべき意味を考えさせることがあっても良い。

○2年から文理分け(のカリキュラムに変更)ということだが、ガイダンスの充実はもちろんですが、卒業生の活用が大切になってくるのではないのでしょうか。1年生の時に考える材料を与えていくことが、大学に進学してから、困ることが無いように。

●ご指摘の通りで、1年生から分野別説明会(昨年度までは2年生のみで実施)を行う。また月曜7限目の探究の時間において、1年生は大学の学部・学科調べ中心に、材料を提供しています。また藤蔭講座も昨年度より復活して、OBOGの皆さんのお力添えもいただいています。

<その他のご意見>

○文理分けをなぜ早めなければならないのか。大学でも関大や大阪公立大では文学部に入ってから、自分の興味関心に基づいて学科を選んでいます。

○受験対策について、学校が予備校化しているのではないか。

○教員が個別対応していかないといけない状況に追い込まれている。

○将来、外部評価がドラスティックに入ってくると思われるのでその準備も必要。

○遅刻数について指標の立て方を再考する必要があるのでは。単なる数字ではなく、中身をよく吟味して、例えば、何回以上の生徒は何人など。

次回の会議日程

| | |
|----|---------------------------------------|
| 日時 | 令和 月 日()00:00～ 後日、日程調整のアンケートを実施して決定。 |
| 会場 | 本校校長室など(授業見学を予定している) |